



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.116

平成 29 年（2017 年）2 月 4 日発行

### ■立春（りっしゅん） 2 月 4 日から 2 月 17 日までの節気

寒い日が続いていますが、みなさまいかがお過ごしですか。2 月 4 日から、二十四節気は「立春」に入ります。いよいよ、「春」という字が出てきました。「寒」が明けて春に入ります。まだ寒さは残りますが、昼が少しずつ長くなり、春らしい兆しも見えてくるころです。禅寺では、厄除け祈願のために立春の早朝に「立春大吉」とかいた紙を門にはります。「立春大吉」の文字を書いて、まんなかで折ると左右対称になります。裏から透かしてみても、立春大吉と読めるので縁起がよく、一年間災難にあわないのだそうです。自分で書いてみようと思いましたが、何度か試みましたが、左右対称にうまく書けなくて断念しました。

2 月 11 日は「建国記念の日」で祝日です。「建国をしのび、国を愛する心を養う」日として、昭和 41 年に制定されました。年中行事辞典（三省堂）によると、「日本書紀」に初代天皇とされる神武天皇が帝位についた日が記されていて、明治政府がその日を太陽暦になおしたところ、2 月 11 日になったのだそうです。

12 日は初午。初午とは、2 月の最初の午の日のことで、この日は、全国各地の稲荷神社で祭礼が行われます。とくに京都伏見の稲荷大社は稲荷信仰の中心として有名です。稲荷は、「いねなり」の意味とされ、農業の神様への信仰がもとになっています。伏見稲荷大社には、春先に農業の神様が馬にのって降臨されたという伝説があることから、初午に稲荷祭りをするようになったそうです。今年も豊作でありますように。

さて日本気象協会では 2012 年の 8 月から 12 月にかけて「あなたが感じる季節のことば」というテーマで、一般からことばを募集しました。そして翌年、そのなかからひと月あたり 3 つずつことばをえらび、「季節のことば 36 選」を決めました。ただし、7 月は 4 つのことばが選ばれているので全部で 37 個です。

ちなみに2月は、「節分」「バレンタインデー」「春一番」。3月になると「ひな祭り」「なごり雪」「おぼろ月」。12ヶ月の言葉を眺めてみると、日本の四季と暮らしの姿が見えて面白いです。興味のある方は「季節のことば36選」で検索してみてください。四季の移ろいととも、日本語のなかにも季節を感じさせてくれる美しい言葉があります。たとえば、今ごろですと、「春浅し」。春の気配は確かにあるけれど、春というにはあまりにも寒い、という意味の言葉です。そして「薄氷（うすらい）」。道端や田の隅の水たまりにうっすらと張った氷のこと。薄氷が割れる音は、春の女神・佐保姫が通る音なのかもしれません。

NPO PTPL が2015年から目黒アトレの協力のもと始めた「HAND IN HAND たたみ一畳農園」に先日寄ってきました。大根が育っている農園もありおでんが食べたくまりました。帰りに和菓子屋さんをのぞいたら、紅梅のふっくらしたかわいいうちわい和菓子がありました。鶯色した鶯をイメージさせる和菓子も。和菓子屋さんには一足早く春がきているようです。

そろそろ花粉も飛ぶようです。みなさま、くれぐれもご自愛くださいますように。

すとう あさえ(NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

## ■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是

### ●2016年の訪日客数急増

観光庁の発表によると、2016年の訪日客数は2403万9000人と、前年より21,8%増加したということ。中国人および東南アジアの人びとの「爆買い」は沈静化し、一人当たりの消費額は11,5%減少しました。

2020年に向かって、訪日客はますます増加すると思われませんが、今後は自然や伝統文化、文化財といった観光資源が豊富な地方への親切、丁寧な誘客を強化することが課題となってきます。

訪日客と日本人が交流する頻度も多くすることが大切です。そういう機会に「ジャパネスク」日本の本質、日本的なるものの訪日客の理解度も深まることでしょう。

そして「何かいいことありそうな、行ってみたい日本へ。」「あなたの知らな

いワンダーランド、不思議の国、日本。」と感じ始める外国人がますます増加していくことでしょう。

「日本 2020 に向かって、ジャパネスク」

### ●春節休暇

中国の情報によると、1月28日の「春節」の前日、1月27日から2月2日まで春節の休暇が始まり、約650万人が海外に行くそうです。

1位はタイ、2位は日本、3位が米国、そしてシンガポール、オーストラリアと続きます。200万人近い中国人が、この休暇中に日本を訪れます。

自然、伝統文化を見るだけでなく訪問客のその土地、土地の日本人との交流はジャパネスクを広め、その理解度を高めるために、とても大切です。

何か面白いアイデアがありますか？

## ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

### ■事務局だより

●今回、本文を執筆するすとうあさえさんのエッセイ「わたしの暮らし・ジャパネスク by すとうあさえ」を「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」(<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>)で掲載中です。

これまでのテーマは、「和菓子」「あんぱん」「雪駄」「柴犬」「風呂敷」「行李」「帳場筆筈」「はなびら餅」そして「大根」です。どれも当たり前のように皆さんの身近にあり、ご存知のものを取り上げています。(※「帳場筆筈」は別かもしれません。)

ぜひ、お読みください。

そして、皆さんの身近にある「私のジャパネスク」の投稿をお待ちしています。よろしくお願ひします。

●「ともいき暦」に長年親しんでいると、2月4日の「立春」が元旦とは違った、一年の初めを感じます。まさに「初春」。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-3-3 虎の門南ビルスタンダード会議室虎ノ門南店 4 階—A

電話：03-6459-0264 FAX；03-6459-0284

Email：info@ptpl.or.jp